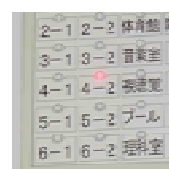
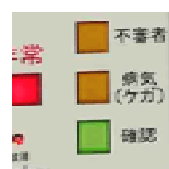
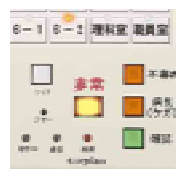


## 特長と機能

### ！ 特長

2つの情報「何が」「どこで起こったか」をボタン1つで一斉通報。

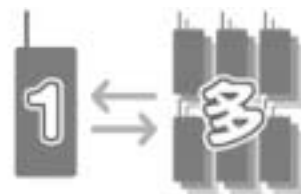
- 面倒な操作は一切ありません。ボタン（本体のボタンあるいはリモコンボタン）を一回押すだけで各緊急通報機が一斉相互通報、「何が（4種類の内容）」「どこで起こったか（発信場所 24 箇所）」をブザーと表示板のランプ点滅で知らせます。
- 緊急時には常時携帯しているリモコンボタンからの送信電波をキャッチした、もよりの通報機から一斉通報することができます。（リモコンから送信できる範囲は最大半径 15m。）
- 「何が」の内容を 4 種類、目的にあわせて決めることができます。[緊急]、[病気・ケガ]、[侵入者]、[火災]のように目的や使用場所にあわせて、使用者が任意に決めることができます。（表示板はご利用の状況にあわせて制作いたします。）
- 「どこで起こったか」の発信場所を 24 箇所まで表示できます。表示内容も[1-1]、[1 年 1 組]、[個人名]、[1 番受付]など目的にあわせて、使用者が任意に決めることができます。（表示板はご利用の状況にあわせて制作いたします。）



### ！ 特長

「1対多」通報システム。

- 1つの機器から発信した情報は、全ての機器で同時に受信、各緊急通報機が一斉相互通報します。受信すると 30 秒間ブザーが鳴動しランプが点滅します。（発信元のブザーは鳴りません。）
- 『1対多』通報システムですが、設定したグループの機器以外には反応しません。2つ以上の施設が混在している場所でも大丈夫。決められたグループ以外には一斉相互通報しない仕組みです。



### ！ 特長

無線通信のため屋内配線工事が不要。

- 無線通信のため屋内配線工事が不要、設置場所の変更や機の増設が簡単です。
- （電波障害のないところで設置機器の間隔は 300 ~ 400m 内。電波障害がある場合は右写真の「中継機」が必要です。



### ！ 特長

ユニット増設や外部入出力端子でシステムをさまざまに拡張できます。

- 「表示増設機」を使用し、ユニット増設することにより設置場所を増やすことができます。（基本 24 箇所×接続端子 3 回線を使用して最大 72 箇所設置場所拡張可能。）
- 設置場所が多いときなど、特別に「集合表示板」（別途）を制作し、本体と併設することができます。
- 外部入力端子で火災報知機・不審者感知センサーなどから情報を受け取り一斉通報することができます。
- 外部出力端子で外線電話・携帯電話・拡声器・パトライト・消防署・警察にも自動発信できます。

